

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名		地域経済活性化推進事業(エコミックガーデニング)		担当部署	経済建設部 商工政策課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市中小企業振興基本条例、 鳴門市創業支援事業計画	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業 期間	開始	平成 24 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと			終期	未定
(小項目)		産業				
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化				
基本事業	1	地場産業の育成・振興				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 ・市内中小企業者 ・中小企業支援関係機関						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	中小企業者が活動しやすい環境をつくり、成長を促すことにより収益の向上やそれに伴う雇用の創出、税収の増加を図る。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	・企業訪問を実施し、把握したニーズや新しい取り組みに対する支援策を検討する。 ・中小企業振興基本条例を制定する。 ・創業促進事業計画の変更認定を受ける。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		がんばる中小企業応援パッケージ事業利用件数	—	10	15	15	15	件

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	・鳴門市中小企業振興基本条例の制定、施行した。 ・鳴門市がんばる中小企業応援パッケージ事業を創設した。 ・市内企業訪問を実施し、上記条例と支援制度の周知を行なった。 ・鳴門市創業支援事業計画の変更認定を行なった。 ・中小企業振興条例に基づく会議の設置のための準備会を開催した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
	指標名	27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 企業訪問数(延べ)	50	150	150	150	150	件
	2 起業・創業相談件数(延べ件数)	12	39	5	5	5	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったかを示す指標</small>	がんばる中小企業応援パッケージ事業利用件数	—	13	—	—	—	件
	目標達成率(実績/目標)		130.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	5,625	5,625
		補正予算額	0	0	0	0	8,500	8,500
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	14,125	14,125
		決算額	0	0	0	0	6,909	6,909
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)		総人件費		総事業費
		2.0	0.0		14,266		21,175	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：地域経済活性化推進事業(エコノミックガーデニング)】

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	3,715	6,909	7,760	7,760	7,760
	うち一般財源	393	6,909	7,760	7,760	7,760
	人件費	13,718	14,266	14,266	14,266	14,266
	総事業費	17,433	21,175	22,026	22,026	22,026

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		企業訪問実施により、経営者等から直接意見を伺うことは、施策の検討にあたり有効であった。
	効率性	B:概ね効率的だった		市内経済団体、中小企業支援機関と連携することで効率よく市内企業の情報について入手することができた。
②成果に対する評価	指標名	がんばる中小企業応援パッケージ事業利用件数		施策については、中小企業向けの補助事業の創設などが実現するなどし、目標を達成することができた。
	目標	10	件	
	実績	13	件	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		事業実績については概ね満足のいくものであったが、補助事業については年度途中からスタートしたこともあったためか、事業によっては想定よりも利用が下回ったものも見受けられた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	中小企業振興基本条例理念の具体化としての中小企業支援施策をどう展開していくかについて検討を行なう。そのため企業訪問については訪問先の完全な固定化を避け、継続して実施をすることが必要であり、企業が意欲的に取り組んでいる活動を支援できるよう、まずは産学公民金と連携したなかで、中小企業振興施策の検討・検証を実施していく体制の構築を行なうことが求められる。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業訪問実施による条例・振興施策の周知</li> <li>鳴門市ががんばる中小企業応援パッケージ事業の実施。</li> <li>中小企業振興施策の検討及び施策検討のための体制構築。</li> </ul>			
	H30年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。			